

キリストがすべて

第160号 2019年4月1日発行



CONTENTS	Page
巻頭言	1
特集記事	2
キリ神創立70周年特集	
卒業生の証し	6
ニュース	8
特集つづき	10
丸山軍司先生	
支援会ニュース	11
Information	14

- ① 歴史探訪ツアー 東京基督神学校初代入学生
- ② 歴史探訪ツアー 東久留米での大発見
- ③ 歴史探訪ツアー 丸山軍司先生を訪ねて
- ④ 大学院修了生
- ⑤ 学部卒業生
- ⑥ 専攻科修了生

「言ったことは忘れられてしまうものです。あなたがたがしたこと。それでも、あなたがどんな気持ちにさせたか、人は決して忘れないでしょう。」

(作家・詩人マヤ・アンジェロウ)

私が「キリ神」(東京基督神学校)を卒業してから、この3月で21年が経ちました。アメリカでは、ちょうど幼子が成長し、大人として扱われるために必要な年数です。

キリ神に入學した95年には、私は25歳、幼子でした。一人前の大人になっていたはずの年齢でした。しかし、実のところは「神が告げたことばの初歩を、もう一度だれかに教えてもらう必要がある」、「固い食物ではなく、乳が必要になって」いました(ヘブル5章12、13節)。

「教育」というのは不思議なものです。教師が一生懸命準備し、熱心に伝えようとする「知識」を、試験が終われば忘れてしまいます。課題として与えられた数々の図書、自分自身書き上げたレポートを通して得た洞察でさえ、時が経てば、忘れてしまうことがしばしばあります。

確かに、「知識」だけが目的であれ



副学長(グローバル担当)

ランドル・シヨート

ば、スマホさえ持っていれば、すぐに古今東西の「知識」を手に入れることが可能な時代に、私たちは生きています。

しかし、人生を豊かにする教育、永遠の命に値する教育は知識の獲得で終わらず、神と人を愛する心と、その「気持ち」を育ててくれます。とても楽しくギリシャ語を教えてくださいました。小林先生から得た聖書の原典を愛する気持ち。緊張感に満ちた教室で、木内先生と共に、旧約聖書の言葉ひとつひとつを反芻した厳かな気持ち。宗教改革を淡々と解いてくださった、丸山先生から得た教会史の遺産を重んじる気持ち。優しく楽しく、また非常に丁寧で真剣に説教演習を導いて下さった、下川先生と柴田先生から得た「神の言葉とイエスの証しとのゆえに」生きる気持ち。私と同じ頃キリ神で学ばれた方々は、このような気持ちになったことを決して忘れないでしょう。

学園の長い歴史の中で、この紙面では書ききれないほどの、こうした忘れられない気持ちを受け継ぐことのできた恵みに感謝し、次の世代へと継承していく者たちでありたいと願います。



東京基督教大学

東京基督神学校 創立70周年記念 歴史探訪ツアー

1949年東京都杉並区堀ノ内一丁目三番地に東京基督神学校が開校してから70年。この節目の年にキリ神の歴史探訪ツアーを敢行しました。



3月4日午前9時。千葉市美浜区のJR新検見川駅に山口陽二郎学長（東京基督神学校卒・最後の校長）、阿部伊作図書館職員、中留守学長室職員（前回横浜ツアーに続きまた遅刻！）が集合。ここから東京基督神学校（以下、キリ神）初期の卒業生で東久留米キャンパス時代の事務責任者も務めた日本長老教会海浜幕張めぐみ教会牧師の廣橋嘉信先生をお迎えに。天気はあいにくの雨。山口学長「スツキリ晴れないのはキリ神らしいなあ」とポツリ。無事に廣橋先生と合流でき、山口学長の祈りをもっていよいよキリ神歴史探訪ツアーがスタートです！ 最初の目的地は、最初のキャンパスがあった東京都杉並区堀ノ内。現在は日本長老教会杉並教会が建っています。しかし、いきなりの大渋滞に巻き込まれます。が、全然進まない車と反比例するように、廣橋先生と山口学長のキリ神トークはガンガン進みます。

たのでまず予科に入りました。同じように高校卒業者のために聖書大学というのも併設されていて、こちらは四年制でした。予科は三年制でした。でもほとんど途中で辞めていきましたね。私の同期も最後までいたのは私ともう一人の二人だけ。

山口 やめてしまう人たちの理由は召命感の問題ですか？ お金の問題ですか？

廣橋 いや、「こんな学校に入ったのは失敗だった」ってことですよ（笑）残った二人は高卒で、神学校とはこんなものだったってしたので最後まで忍耐しました。

山口 失礼しました（笑）堀ノ内の土地や建物はどこの所有物だったんですか？

廣橋 土地は全部Japan Presbyterian Mission (JPM) のものでした。堀ノ内も東久留米も。JPMの法人規則の中に事業として日本基督神学校が含まれていましたから。

山口 当時の経営の実態はJPMからの支援がやはり大きかったですね。

廣橋 それは大きかったですね。組織上は独立理事会でしたが、学費がやたらと安かったですからね。宣教師の人たちのお給料は学校からは一切出ませんでした。

山口 建物は米国からの献金で建てられたのですか？

山口 6年というのは、予科3年と本科3年合わせてですね。

廣橋 そうです。私は高校卒業後すぐだった

山口 堀ノ内は、部屋は三畳間に二段ベッドと机があつてそこに二人で住む。とにかく狭い。6年間よく耐えましたよ。卒業は6年間耐えた証ですね（笑）

山口 6年というのは、予科3年と本科3年合わせてですね。

廣橋 そうです。私は高校卒業後すぐだった

山口 堀ノ内は、部屋は三畳間に二段ベッドと机があつてそこに二人で住む。とにかく狭い。6年間よく耐えましたよ。卒業は6年間耐えた証ですね（笑）

山口 食事はどうな人が作っていましたか？

廣橋 だいたい学生の奥さんが作っていましたね。学生の食事は朝が10円、15円、

30円だったかな。だから出るものは決まっていたよね。朝はご飯とみそ汁と納豆、お昼はちよつとしたおかずとご飯とみそ汁。ちよつとしたのってどんなのかっていうと、例えば、ちくわが一本。それだけ。それが何日も続いたことがありました(笑)

山口 ちくわが一本そのまま出てくるんですか？

廣橋 そうですよ！そのまんま！(笑) 何にもしていない(笑)だから今でもちくわは嫌いです。

中南 授業は朝から夜まで行われていたんですか？

廣橋 朝から夕方までです。途中で必ず礼拝がありました。あと早天祈祷会も必須でした。ある時舎監が起きない学生を起こしに行つて問題になりました。

山口 どういう問題ですか？

廣橋 起こしに來ないでくれつて(笑)学生たちは勝手なことを言っていました。先生たちかわいそうですね。1学期18科目、3学期ですから1年間で54科目。6年間ピッチリですよ。アメリカの神学校を出てきた先生たちのやり方で神学百科です。

そんな話をしていると大渋滞の間もあつという間に感じます。いよいよ杉並区堀ノ内に近づいてきました。

廣橋 ああ、ここは立正佼成会の本部ですよ。あそこが吹奏楽の聖地と言われる普門館。

中南 立派ですね、当時からあつ



廣橋先生がこの日のために用意してくださつた手書きの校舎配置図とMagBook

堀ノ内時代を振り返る、杉並教会編

幸い、車止めのポールが車体の下部分に擦つただけで、教会も車も無事でした。

たんですか？

廣橋 ここは運動場だったんですよ。よくソフトボールの試合をしていたんですけど、こんな建つてつて文句を言っていたんですよ。さあもうすぐ着きますね。

予定より1時間遅れの午前11時に堀ノ内キャンパス跡地に到着。現在は、日本長老教会杉並教会があり、同教会員の森優子TCU職員が迎えてくれます。さあ車庫入れして中に入りましょう。

廣橋 狭いから気をつけてね。

車：ピーピーピー……ゴリ！

廣橋 あーぶつけた！

中南 えっ！？

さつた手書きの校舎配置図とMagBookに納められた当時の写真を見ながら振り返ります。

廣橋 (写真を見て)うわーみんな若いなあ。小畑先生も丸山先生も。ここが玄関、ここに道路があつて、庭があつてここに神学校です。

これは今から50年以上前の写真ですね。みんな若いですね。若いのに変わらないのは小畑先生だね。この顔のまんま年取つたよね(笑)

などと冗談を言いながら杉並教会に現存する堀ノ内キャンパス時代のお宝を拝見します。



まずは、階段途中にあるステンドグラス。これは堀ノ内キャンパス礼拝堂の講壇後部についていたものです。次に礼拝堂の講壇と後ろの椅子。これもまた堀ノ内キャンパス時代の礼拝堂で使用していたものをそのまま使っています。さらにはその上に乗っている大きな文語訳聖書。今は読んではいけないようですが、変わらずに講壇の上に開かれています。

廣橋 説教演習もこの講壇でやりましたよ。小畑先生には「お前の説教はこちやこ

ちやいろいろ入つて

いるラーメンみたいなものだ。それではダメだ。一品料理にしる。」と言われました。未だに一品料理できません(笑)

フォックスウェル先生には「ジェスチャーが無い！」つて。6年間ずっと同じことを言われ続けましたね。

阿部 神学塾(現在の聖書神学舎)も浜田山にあつたんですよね。近いですよ。

廣橋 そうそう。日本クリスチャン・カレッジ(JCC)と同じ敷地にね。近かつたですよ。超教派の色んな働きは神学塾から始まりました。問題起こすのはキリ神、見守つているのは神学塾(笑)。

山口 紳士はみんなあちらに行つたんですね(笑)

廣橋 そうそう、紳士はみんな聖書神学舎、暴れる人はみんなキリ神(笑)。K G K(キリスト者学生会)もE. G. P. (高校生聖書伝道協会)もC S K(中学生聖書クラブ協力会)も、ラジオ伝道も文書伝道も、みんな彼らが始めて今でもずっと続けているんじゃないですか。すごいですよ。ただ、教授陣はキリ神の方がそろっていました。この学生をこの分野の博士に、と留学に送つていたのです。

山口 あの時代に博士号を取得してくるといふのはなかなか大変なことでしたからね。

廣橋 福音派の発言力が増すためには、



各分野に博士がいけないといけないということ、早い段階から海外留学に送り出していったんです。

阿部 キリ神の卒業生の伝統なので、**廣橋** 神学舎はそういう観点ではなく国内・外の伝道に力を入れていました。それぞれの賜物で用いられていると思いますね。

東久留米へ移動

堀ノ内キャンパスを後にして、次に向かうは東久留米キャンパス跡地。車で1時間弱の道程です。遅れを取り戻すために廣橋先生には申し訳ないのですが車内で昼食を済ませます。車内の会話を少し。

山口 東久留米のキャンパスはどのような経緯で購入したんですか？

廣橋 東久留米の土地は元々国有地だったんです。当初は宣教師の子どもたちが通っていたCAJ (Christian Academy Japan)の近くを買おうとしていたのですが、国がここを勧めて来たので少し安く購入したんです。元々農地だったんじゃないですかね。

山口 どれくらい広くなりましたか？

廣橋 敷地としては三倍ぐらいじゃないでしょうか。国立に行つてさらに広がり、今の印西でさらにですからね。

山口 宣教師たちも東久留米に移ったんですか？

廣橋 日本人の先生も増えたので、ぐんと宣教師の先生は減りましたね。住居は神学校の近くにみなさん移って住んでいましたね。

山口 東久留米に移つてからは予科とか聖書大学というのは無くなったわけですね。

廣橋 一切ないですね。大学を出る人たちに教育するというところに絞つたので先生たちも遠慮なく教えられるようになりました。今は、キリ神を閉鎖して学部と大学院にしましたが、ゴールに来たなと思います。学校としてのゴールにね。

山口 三校合同が一番大きな路線の決定で、それを良かったとするためにも、うまく生かし続けていかなければいけないですね。

お宝発見！

東久留米キャンパス跡地

午後1時20分。東久留米キャンパス跡地に到着しました！こちらには、東久留米泉教会の高桑先生ご夫妻が迎えてくださいます。



山口 こんにちは。今回はありがとうございます。ごさいます。私と高桑先生は山友だちなんですよ。

高桑 そうなんです、2000メートルぐ

らいの山を何回か行きましたね。

廣橋 そうでしたか。そういうつながりもあったんですね。

高桑 でも、私は東久留米キャンパスのこととは何も分らないのです。

廣橋 東久留米の土地と建物は元々すべてJPMが所有していて、半分を日本基督教神学校、半分を宣教師たちの住宅として使っていました。そして三校合同の際、国立市に移る時に神学校所有分の土地と建物の部分、つまり全体の半分を売りました。そして宣教師たちの住宅の土地も、今の東久留米泉教会の部分だけ残して売却し、現在の日本長老教会の宣教センター(本部)が建っている場所を買いました。ただ、売却の記録はきちんと残っているのですが、ここを買った時の資料が無いんですよ。

高桑 実はですね。一昨年にJPMが所有していた部分が全部長老教会に寄贈されました。それでJPMが管理していた倉庫を改めて整理したところ、古いキリ神の資料が出て来たんですよ。恐らくここにキャンパスを建てる時の資料だと思います。

同 エー！

山口 そうですか、そうですか(山口学長の目力倍増)

高桑 建てる際のいろいろな手続きとか、あとは設計図のようなものも出てきますね。たつぷりあります。

山口 たつぷり！

廣橋 それは宝物ですよ。

中南 さっそくその資料を見せていただけますか？

(教会の2階へ移動)

高桑 ここなんです。この屋根裏部屋の

ような倉庫にあるんです。

阿部 うわー、すごいですね、この引き出

しの書類全部ですか？

廣橋 あー、図面がある。



山口 これは誠に貴重な資料ですね。今になってこんなものが出てくると思つていませんでした。中間地点のここにあったんですね。

ということでお宝を前に記念撮影。すべて車に積み込ませていただきます。高桑先生ご夫妻ありがとうございました！

さあ、最後の目的地、丸山軍司先生のお宅を訪ねます。え？国立キャンパスは行かないのか？国立キャンパスはまた来年、日本同盟聖書学院創立70周年記念特集で訪れますので楽しみに。



(10ページに続く)

寄稿

米国の祈り、支えてくださった兄弟姉妹たち

前日高キリスト教会牧師 下川 友也

1974年10月29日、日本基督神学校は創立25周年記念式典行事をOCCチャペルで行った。祈禱小畑進師、説教神

原康夫師、奏樂は天田繁師……。私は新米理事として末端に座していた。Ⅱテモテ書2章からの榊原師の説教は、その後の私の牧師であること、専心して伝道するものの自覚を決定的に支えるものとなった。だが、この日私にとってそれ以上に強力に示されたことがある。それは、記念行事に参加するため米国から駆け付けた数人の客人たちの証しである。それは、かの名著、『植村正久と其の時代第1巻』後半のエピソードの重なるものである。明治の初期、日本に送られた宣教師たちを支えた米国の聖徒たちは、日本が国を開いたらぜひ若い伝道者を育てるため、と竹籠にドル貨幣を投げ込んで将来に備えたと。時代は飛んで昭和の戦後、相次いでやってきた宣教師、彼らを支えた米国のクリスチャ

ンたちが、まさに私たちのような神学生らを献金で、祈りで支援してきたのである。

私が在学したのは東京オリンピックの年から3年、戦後という時代ではなく経済状態もだいぶ緩和されてきたとはいえ、地方から出てきて東京で学ぶなど、これが世俗の大学ならよほど難しいときである。あまり深く考えもせず、神学校はお金がかからないのだ、などいい気になって吹聴していた自分が恥ずかしく思う瞬間であった。神学校の先生方は犠牲的な奉仕もあつてのこと、万事が先行的恩恵の世界であった。経済力がついたと思われる日本の現在であるが、海外で学ぶ留学生たちは今でも英米その他、キリスト教先進国の教会、聖徒たちに助けられて学んでいる。いつときも早く受けるよりも与えるはさいわいを、知るものとなりた。

(2019年4月より日本同盟基督教団支援教師、新潟市在住)

東京基督神学校の歩み……

《杉並堀ノ内時代》

- 1949年10.16 東京基督神学校、杉並区堀ノ内に設立(理事長・渡辺連平、学監・長谷川真)。
- 1950年 予科を併設
- 1951年 日本基督神学校と名称変更(校長J・ヤング)。

堀ノ内時代19年間の卒業生は37名(平均2名)、予科の卒業生47名。

《東久留米時代》

- 1966年 ヤング校長が退任
- 1968年 東久留米市氷川台へ移転。

東久留米時代12年間の卒業生は62名(平均5名)。

《国立時代》

- 1980年 国立市に移転。
東京キリスト教短期大学、共立女子聖書学院と合同し、東京キリスト教学園に統合された。
- 1981年 校名を東京基督神学校に変更。

国立時代は9年で卒業生は106名(平均12名)。

《千葉県印西時代》

- 1989年 千葉県印西市に移転
- 2000年 音楽科設置。
- 2005年 東京基督教大学共立研究所共立研修センターを神学校共立研修コースに。
- 2009年 学園理事会は神学校の東京基督教大学との統合を決定
- 2010年 学生募集停止、東京基督教大学への3年次編入による教会教職課程開始。

印西時代23年間の卒業生は288名(平均13名、内音楽科15名)。62年半の間の本科卒業生は480名、本科修了生12名、予科卒業生47名、計539名である。

- 2011年 教会音楽専攻科設置
- 2012年 東京基督教大学大学院(修士課程)設置
- 2014年 同 (博士課程)設置

東京基督神学校に関する資料

次の2点の資料に当時の東京基督神学校の様子が収められています。本学図書館にて閲覧できます。

『東京基督神学校 草創期史』
東京基督神学校 発行

『東京キリスト教
学園のあゆみ』
三校沿革史
編纂委員会 発行

卒業生の証し

2018年度卒業生の証しをご紹介します。3月8日の卒業式では39名の学生がTCUを巣立ち、各地へと遣わされていきました。「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」というTCUのコンセプトを実践する働き人として、または、そのためにさらに学びを積み上げる者として、これからの歩みが神の国を建て上げるものとなりますようお祈りくだされば幸いです。



満たされた必要
神学科教会教職専攻
南田 光喜

いつも祈りに覚えてくださり、そして尊い捧げ物を感じます。神様に仕えていきたい、また神学をもっと深めたいという志を持ってTCUにきました。経済的に苦しい状態でしたが、その中であつてサポートの備えがあり、充実した学園生活と学びを続けながら、私自身の召しについてをよく吟味する期間を過ごしました。

これまで学びが守られ十分に続けられたのは、神様の恵みでしかありません。学びの内容は満足できるものであり、同じ志を持った友が多くできたことはここに来なければ得る事はできませんでした。また卒業後に生かせる経験と知識を得て、これからは自分が教会、そして日本の社会に出て行き仕える者として、今度は与える者となっていきたいと思っています。

必要な学びのために、支援をしてTCUでの学びの環境を用意してくださって感謝しています。神様からの祝福があるようにとお祈りしています。



出会いと経験を通し
国際キリスト教学専攻
外山 実祈

国際キリスト教学専攻での学びは、私の価値観や考え方を換え、気付きと恵みに満ちた4年間でした。特に異文化実習を通して1ヶ月間インターンをさせていただいたカンボジアでは、これまで出会ったことのない人々との出会いや、ガス水道のない村でのホームステイを通して肌で感じる学びをすることができました。お金がなくて学校へ行けない、働かなくてはならないなど様々な事情を抱えた子どもたちのために設立されたフリースクールでの毎日は、子どもたちの熱意と笑顔に圧倒され、自分には何ができるのかを問われ、祈り続けた時でした。

講義を聞くだけでは知ることのできない暮らしや人々の痛みを、異文化実習プログラムや語学留学を通し、身をもって学ぶことができるTCUのプログラムは、私が今の時代にこの日本で生かされている意味や召しについて考えさせられるとともに、神の素晴らしさを経験する時となりました。

最後となりましたが、この4年間多くの祈りと励ましをもって支えてくださった皆様へ心から感謝申し上げます。



大学の学びを
実践したこと
神学科シニアコース
大野木 洋子

私は科目等履修生でしたが、福祉を学んでみたいと思いTCU3年次に編入しました。キリスト教世界観、公共哲学と福祉、社会福祉学の授業の中で、認知症「オレンジカフェ」の紹介があり、セミナーも2回開かれましました。そして教会でオレンジカフェを立ち上げました。それ以来、精神科の医者、ケアマネジャー、介護福祉士、保育士、牧師その他自発的なボランティアが今も次々と送られてきています。さらにカフェに来た未信者の方の家に招かれ、メッセージを語る機会も与えられました。

また、東洋思想の授業は、とても実践的であり即効性のあるものです。仏教の知識は未信者へ福音を語る時の切り口になり、人々が御言葉によって変えられていくのを見ることができきます。実際に生活保護の男性が自立し、また精神病の人が快方に向かいました。御言葉は両刃の剣です。東洋思想の学びを通してその剣の用い方を教えていただきました。

卒業後は学んだことを人々の救いのために用いていきたいと考えています。



卒業生の証し

- 卒業生の内訳**
- 神学部 神学科22名(神学専攻4名、教会教職専攻12名、シニアコース5名、ACTS-ES1名)
国際キリスト教福祉学科4名(国際キリスト教教学専攻4名)
 - 教会音楽専攻科3名
 - 大学院神学研究科博士前期課程(修士課程) 教会教職者コース6名
神学研究者・教育者コース4名

ハレルヤ！素晴らしい主の御名を心から賛美します。何も知らず、ただ単に「日本宣教」という思いだけでも入学して以来、主は必要なものを与え、これまでの歩みを守り導いてくださいました。主は私一人では到底乗り越えられなかったあらゆる課題や問題のうちに働き、励ましてくださいました。私がしたことは、日々自分の「無力さ」に向き合ったことだけでした。自分がどれほどちっぽけな者で、弱き者なのかに気づいたとき、その砕かれた私を通して主の完全さが表されることを経験しました。その時味わった主の恵みはどんなものにも変えられない宝物になっています。そして、「共に笑い、共に泣く」信仰の友が与えられたことにも感謝したいです。

卒業後にも、私一人ではなく、主にあつて愛する仲間たちと共に協力し、日本宣教に励みつつ、主のしもべとして仕えてゆきたいと願うばかりです。今後とも神様だけに頼り頼み、神の国のために力を尽くして励んでゆきたいと思います。

大学院に来たことは神様の御心だつたと、どの場面を切り取っても言うことが出来ます。2年という学びの期間を与えてくださった主に感謝しています。二つの授業を通して、「私はこの授業を受けるためにここにいます」と確信し、2年かけて書き上げた論文は私の今までの領域をさらに広げ、今後のミニストリーを助ける学びの時となりました。

またTCUの学生だからこそ出会うことができ、築き上げることができた関係性にも神様のお計らいを感じます。夏期伝でお世話になった教会、私の必要をいつも聞いてくださって祈ってくれた実習教会、送り出し祈ってくれた母教会、インターンシップをさせていただいた、帰国者ミニストリーの宣教団体を通して、神様が日本人にも注いでくださいました。

2年という期間は二言では言い表せませんが、大学院で学んだこと、経験したことを通して、さらに主に期待し宣教の業に励んで参りたいと思います。

TCUの学びの中で何度も考えたことがあります。それは、「なぜ神様は私に音楽を与えたのか」ということです。私はこれまで音楽を楽しんで続けてきたというよりも、自分が生きるために音楽を利用していただけでした。こんな私に、なぜ神様は音楽を続けさせてきたのか、私が音楽を通して福音のためにできることはあるのだろうか。もちろん、応えはひとつではありませんでした。神様に賛美すること、人に仕えることの喜びを知りました。音楽を共に楽しむ仲間を与えられました。教会を愛すること、を学びました。音楽を続けてきたことで神様が私に与えてくださる恵みがこんなにも多くあるのだと、この二年間で実感することができました。

そして、これからもこの受けた恵みを多くの人と共有し、私が音楽と向き合い、音楽を奏でることによって主のみわざがあるならば、そのみわざを主と共に成し遂げたいと願わされるのです。こうして私が音楽を続け、神様を賛美し続けるために必要な学びが与えられた二年間を心から感謝します。

TCUの学びの中で何度も考えたことがあります。それは、「なぜ神様は私に音楽を与えたのか」ということです。私はこれまで音楽を楽しんで続けてきたというよりも、自分が生きるために音楽を利用していただけでした。こんな私に、なぜ神様は音楽を続けさせてきたのか、私が音楽を通して福音のためにできることはあるのだろうか。もちろん、応えはひとつではありませんでした。神様に賛美すること、人に仕えることの喜びを知りました。音楽を共に楽しむ仲間を与えられました。教会を愛すること、を学びました。音楽を続けてきたことで神様が私に与えてくださる恵みがこんなにも多くあるのだと、この二年間で実感することができました。

そして、これからもこの受けた恵みを多くの人と共有し、私が音楽と向き合い、音楽を奏でることによって主のみわざがあるならば、そのみわざを主と共に成し遂げたいと願わされるのです。こうして私が音楽を続け、神様を賛美し続けるために必要な学びが与えられた二年間を心から感謝します。



ただ主の恵み
大学院神学研究科
教会教職者コース
李 成俊



与えられた恵み
大学院神学研究科
神学研究者・教育者コース
古屋 詩織



主を賛美し続ける
教会音楽専攻科
村山 いづみ



ATA日韓合同神学シンポジウム

准教授 篠原基章

2018年2月22日(金)から23日(土)にかけて、アジア神学協議会(Asia Theological Association, ATA)の日韓合同神学シンポジウムが東京基督教大学において開催されました。「現代の東アジアの神学教育における課題:書かれたカリキュラムと書かれざるカリキュラム」をテーマに、錦織寛先生(東京聖書学院)とハン・サンファ先生(ACTS)が発題をし、互いの取り巻く神学教育の状況の違いを越えて意味深い研鑽の機会となりました。韓国からは7校の神学教育機関から9名、日本からは7校から17名が参加しました。

開会礼拝において、2017年の秋に召された小林高德学長を覚える記念礼拝がもたれました。小林高德先生は長年にわたってATAの働きに情熱をもって関わってこられ、2013年から召されるまでATA議長としてアジア全体の神学教育の発展と深化のために尽力してこられました。この記念礼拝において、橋本昭夫先生(神戸ルーテル神学校)は、「私たちは、生きるかすれば主のために生き、死ぬかすれば主のために死にます。ですから、生きるにしても、死ぬにしても、私たちは主のものであります。」(ローマ14:8)という聖句を中心に、小林先生との思い出を交えて御言葉を取りついでくださいました。説教後、小林先生を偲ぶビデオが上映され、小林宮子夫人が挨拶をしてくださいました。発題や応答においても、小林先生の神学

教育者としての姿勢について幾度となく言及がなされ、今もなお私たちにその生き様を通して語りかけてくださっていることを思わされました。

小林先生はTCUの教育の可能性を信じていました。それは神学教育そのものの可能性を信じていたからだと思います。今回の日韓神学シンポジウムは小林先生が召される前に企画され、本学での開催も小林先生ご意思によって決められたものでした。このシンポジウムは私たちに對する小林先生の置き土産であったと受け止めています。



TCUが取り組む大学改革と 創立30周年記念事業について

学長 山口 陽一

前回の大学報で既報の通り、TCUは2020年に創立30周年を迎えるにあたり、「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」をコンセプトに大学改革に取り組んでおります。

引き続き、教員免許課程(宗教)設置を視野に入れつつ、カリキュラム改革を進め、学生の満足度向上のための学科再編に取り組んでいきます。そして、全人格的な霊的形成のために教職協働で教育・学生支援にあたり、教会教職への召命と信徒の召命を受け取って、神の国のさまざまなミニストリーを通して神と人ともに仕えるキリスト者を育てます。全教職員が力を合わせ、着実に大学改革を進めて参りたいと願っています。

創立30周年記念行事について、次のように骨子がまとまりましたのでお伝えいたします。

名 称:東京基督教大学創立30周年記念事業
事業期間:2019年秋~2020年秋(記念募金の期間とは異なる)

事業内容

I.寮と食堂のリニューアル

1. 食堂を豊かな交わりの場に
2. 寮の共用部分のリフォーム

II.30周年イベント

1. 2019年シオン祭(キックオフイベント)
2. 2019年10月31日創立記念日
(説教:廣瀬薫、講演:丸山忠孝)
3. 各地での創立記念イベント
4. 2020年11月3日創立記念日メインイベント
(説教:下川友也、講演:湊晶子)

III.30周年出版事業

1. 30周年記念誌の発行
2. 宣言文
3. 紀要30周年特別号
4. テーマソング
5. 同窓生名簿

IV.30周年記念募金

1. 期 間:2019年4月~2021年3月
2. 目標金額:1億6500万円

皆様におきましては、より一層のご加禱とご支援を賜りたくお願い申し上げます

●書籍案内●

TCU初代学長・丸山忠孝先生の著書『十字架と桜』がいのちのことば社より出版されました。



日本を象徴する花として愛されてきた「桜」。明治以降でも「日本になじまない」とされてきたキリスト教の「十字架」。この対比をどう考えればよいのか。十字架(キリスト教)と桜(日本)との対峙の根底に厳然と横たわる「日本的なもの」を浮き彫りにし、「キリスト者日本人」の使命を考える。

著者・丸山 忠孝(まるやま・ただたか)
東京基督神学校校長、東京基督教大学学長などを歴任。

TCU名誉教授・湊晶子先生の著書『初代教会と現代』がヨベルより出版されました。



日本における女子教育を力強く牽引してきた著者の学問の出発点となった、ローマ帝政下における初期キリスト教研究を第一部に集成。転じて、国際化時代におけるリベラル・アーツの大切さから、女性の自立と社会参画への道をキリスト教信仰の立場から追求した記念碑的著作。

著者・湊 晶子(みなと・あきこ)
東京基督教大学名誉教授。現在広島女学院院長・学長。

TCU卒業生の藤藪庸一先生の著書『あなたを諦めない』がForest Booksより出版されました。



孤独と諦めの中で年間2万人以上が自命を絶つ日本。目の前には「疲れた」「うまくいったためしがない」と、人生を諦めてしまった人たち。南紀白浜・三段壁で905人の自殺志願者を救助した牧師がその苦悩と葛藤を語ります。

著者・藤藪 庸一(ふじやぶ・よういち)
東京基督教大学神学部神学科卒業、白浜バプテスト基督教会牧師、白浜レスキューネットワーク理事長。

本学チャペルを設計

磯崎新氏 プリツカー賞受賞

本学のチャペルを設計してくださった磯崎新氏が建築界のノーベル賞と呼ばれるプリツカー賞を受賞されました。

見学を希望の方は、本部棟事務局にて受付をしてからご見学ください。

事務局対応時間 平日9:00～16:45(土日祝日休み)

器楽練習中の場合もありますので、チャペル内は静粛にお願いします。
飲食はご遠慮ください。

退任・新任教職員の紹介

退任 2018年度限りで退任された先生は次の通りです。

- 稲垣久和先生(教授)
※引き続き非常勤の特別教授として教えてくださいます。
- 加藤喜之先生(准教授)
※引き続き非常勤教員として教えてくださいます。
- デイビッド・クック先生(講師)

新任 2019年度より新たに齋藤五十三先生をお迎えします。

Profile

教会名：日本同盟基督教団 谷原キリスト教会
主な学歴：法政大学法学部法律学科、東京基督神学校、カルヴィン神学校(組織神学、Th.M)、アムステルダム・フリー大学神学部教義学専攻(Ph.D)
専門分野：組織神学、教理教育、教理史
担当科目：組織神学(神論、人間論、キリスト論、救済論)、教会とミニストリー(組織神学の適用)、実践神学概論、中国語



「新任の挨拶」

講師 齋藤 五十三

本年度より専任教員となりました齋藤五十三(いそみ)です。東京基督教大学とルーツを共にする東京基督神学校を1992年に卒業、93年から新潟亀田で教会と伝道に従事しました。2004年からは台湾にて日本同盟基督教団派遣の宣教師として奉仕し開拓伝道や地域の貧困家庭の児童支援に夫婦で取り組みました。また現地教会の状況を見る中、台湾での神学教育を志すようになり、宣教師として働きつつオランダに通い、アムステルダム・フリー大学にて学位(教義学、Ph.D)を取得しました。しかし台湾での神学教育への道は開かれず、健康上の理由もあり昨年夏に帰国、宣教師を退任しました。

この度、台湾で開かれなかった道が本校にて開かれ、主の不思議な御手を感じております。これまで教会伝道の現場に身を置いて来ましたので、教育の畑においては経験の乏しい者ですので、ゼロから学びつつ、学生の皆さんと共に成長していきたいと願っています。

丸山軍司先生のお宅へ！

丸山軍司先生、茂子先生ご夫妻、息子の慎一さんが私たちを迎えてくださいました。山口 どうも大変ご無沙汰しております。この度は本当にありがとうございます。

丸山 遠いところよく来てくださいました。廣橋 私が入学したときに丸山先生が男子寮の舎監をなさっていたんですよ。その頃のことだと思いがあれば何でも話してください。

慎一 実は、当時の建物が分かるという写真が出て来たんですよ。山口 こういう写真は初めて見ましたね。これは貴重な写真です。



丸山先生宅で発見された写真

廣橋 ここが食堂で、ここが図書館。この図書館の2階に急な階段の屋根裏部屋があってよく頭をぶつけました。

茂子 立つて歩けない謙遜の部屋ね(笑)

山口 丸山先生は卒業してすぐ舎監ですか？
丸山 最初は豊橋の教会に赴任しました。その後に戻ってきて松ノ木教会の牧師とキリ神の舎監になりました。松ノ木教会は最初は別の先生がいて一緒に奉仕していたのですが、辞められたので私が牧師の資格があるということの後を継いだ形です。

山口 舎監の仕事はどういう仕事だったんですか？

丸山 事務全般をやっていました。それからお客さんの対応ですね。とにかくお客さんが来ると、みんな私の所に来るんですよ。初めは私だけでしたが、中二階に小畑先生たちが住んだこともありまして。私が住んで事務とかあらゆることをしていました。7年ぐらいいましたかね。

阿部 丸山先生は神学校時代の特技として醤油をかけたなら何でもおいしく食べられると書いていますが。

丸山 当時は食べ物が無くて大変でしたからね。
茂子 私もちよつとだけ厨房に入ったことがありますが、朝10円、昼15円、夜20円を目安に考えてねって言われたのを覚えています。

廣橋 だから朝はご飯と納豆とみそ汁、それが6年間。私は関西人だから納豆が食べられない(笑)。みそ汁とご飯だけ。

茂子 その20円、30円で考えて買いに行くの大変でしたよ。

廣橋 お世話になりました。
山口 フォックススウェル先生はどんな先生ですか？

廣橋 フォックススウェル先生は顔が広くて、私たちにアルバイトを度々紹介してくれたりもしました。

茂子 神学生のことをとても気にかけておられましたよね。そういうえばフォックススウェル先生にオリンピックのチケットをもらって夫婦で何かの競技を観に行きましたよ。

山口 フォックススウェル先生はチケットを手に入れたんですね。もうすでに顔が広

いですね。手品ではなかったんですね(笑) 慎一 よく実験台にされましたよ。

茂子 うちの子たちや、教員の子もたちはみんなフォックススウェル先生の手品の実験台にされていました(笑)

廣橋 授業中もそうですよ。全部手品でこまかされたような(笑)。でもあの人は天才なんですよ。授業を受けている時はさっぱり分からない。でも試験前にノートを読み返してみると、こんなすごいことを教えてくださっていたのかと分かる、そういう授業でした。今でも弁証学の講義ノート持っていますよ。

山口 ヤング先生はどんな方なのですか？
廣橋 恐くはないけど、学者風の先生でした。組織神学はちゃんとした資料を用意して、日本語に直したものを印刷して配ってくれました。

茂子 学者風でどしどし感じた感じでしたね。
廣橋 ソルトー先生という若い先生もいました。スツと長身でスマートでしたね。今でもお会いすると当時のままの印象ですよ。今でも日本語もすごい上手です。

イントネーションを間違えずに話します。

阿部 当時、図書館学を修められたウィグルスワース先生が図書室を管理されていたようですね。デザインもきれいなしっかりした蔵書票は今も図書館に残っています。

茂子 図書室は狭い部屋でした。あの頃は本を買うのは大変でしたからね。

廣橋 ウィグルスワース先生はあらゆる歴史についての授業を担当していました。あの授業は厳しかったですね。

山口 当時の先生たちのお話はとても面白いですね。この話はいつまでも尽きないですね。でもあまり長居をしてもいけませんので、この辺で失礼したいと思います。2003年に発行した『東京基督神学校草創期史』の続きをぜひ書きたいです。そのためにも今日お話しをお伺いできて本当に良かったです。どうもありがとうございます。



丸山先生宅にて

気づけば日も傾き、あつという間に歴史探訪ツアーは終わりました。70年前の学生と教師たちの生き生きとした姿が浮かび上がってくるような一日でした。帰りも車は大渋滞でしたが、車内は一日の充実感に満たされていました。大先輩たちが思い描いていた大きなビジョンと大胆な行動力を受け継ぎ、TCUが献身者の訓育に用いられるよう励みたいと思われました。「神のことはとイエスの証しとのゆえに」

(記 中南 守)

支援会ニュース

TCU支援会 / 〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目301-5
TEL:0476-46-1131 ● FAX:0476-46-1405 ● E-mail tcu@tci.ac.jp

支援会活動報告

石川地区支援会



TCU石川地区支援会
泉野聖書教会牧師
中西 明

1月21日(月)TCU石川地区・支援者の集いが内灘聖書教会を会場に行われました。今回の集いでは、1986年から2004年まで東京基督神学校校長を務められ、現在北海道・日高で牧会をされている下川友也先生ご夫妻をお招きし、先生より「学園18年献身の若者とともに」、「日高15年 辺境に身を置いて」と題して2回の講演をいただきました。案内を通し24名の出席者が与えられ、下川先生の神学校校長としての証、牧会者としての証を交え、温かく、そして熱いメッセージをいただき、地方でそれぞれの立場で主に仕える参加者一同励ましをいただきました。交わりでは、先生ご夫妻との学園での懐かしい思い出話が尽きませんでした。ここ数年、学園から送られる講演者の素晴らしい講演により、卒業生以外の出席者も与えられるようになりました。それらの方々に、下川先生ご夫妻と卒業生の交わりを通して、学園の素晴らしさ、尊さをPRできたのではないかと思います。栄光在主。

2019年度 各地区の学園デー、TCUのつどい 予定

3月末現在で開催が予定されている学園デーなどの予定です。ぜひお近くの学園デーに足をお運びください。

- 6月16日 新潟地区学園デー
ランドル・ショート 教授
- 6月29～30日 神奈川地区TCUセミナー
岡村直樹 教授
- 9月14～16日 北海道地区学園デー
山口陽一 学長
- 9月22～23日 福岡・山口地区学園デー
宇内千晴 教会音楽講師
- 9月30日 千葉地区TCUのつどい
廣瀬薫 理事長
- 9月30日 愛知・岐阜地区学園デー
山口陽一 学長
- 10月26～27日 四国地区学園デー
大和昌平 教授



第8回 全国会議が行われました

3月25日に本学国際宣教センターを会場にして、第8回東京基督教大学「明日の世界宣教者」育成支援会(TCU支援会)全国会議が行われました。北海道から沖縄まで22地区でTCU支援会が起こされ、今回は合計19名の地区支援会代表者と同窓会役員が集まりました。今回の全国会議では、各地区の特性が表れた活動内容が報告されました。また、2019年秋から始まるTCU30周年記念事業や大学の今後の教育の在り方について、熱のこもった意見交換が交わされました。TCU支援会は「TCUを支援する」という一方向的働きではなく、TCUと教会とがお互いに支援しあい神の国を建て上げることを目指して2019年度も活動していきます。

寄付金控除のご案内

本学の「明日の世界宣教者育成募金」への寄付金(献金)は、税制優遇措置の対象となり、所得税の寄付金控除と個人住民税の控除を受けることができ、献金額の最大50%が控除されます。

所得税の寄付金控除

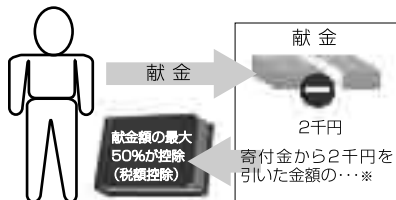
所得税の寄付金控除は、「所得控除」か「税額控除」のどちらかをお選びできます。

所得控除(従来の制度)

献金額(所得の40%が限度)-2千円を所得から控除

税額控除(新制度)

[献金額(所得の40%が限度)-2千円]×40%を所得税額から控除(所得税額の25%が限度)



※最大50%の控除は、千葉県印西市にお住まいの場合です。(税額控除40%+千葉県指定県民税控除4%+印西市指定市民税控除6%)

税額控除は、すべての寄付先への制度ではなく、東京キリスト教学園がその寄付先として認可を受けています。税制優遇の幅は、大学への寄付金に関して現行制度上で最も手厚くなっており、ぜひご利用ください。

ご不明の点等、お住まいの市区町村役場または本学募金係まで、お気軽にお尋ねください。

便利な定期献金のご案内



●Web(随時・定期献金)設定金額1,000円~

TCUウェブサイトの下「寄付金(献金)/TCU支援会」→右「Web寄付(献金)」にお進みください。VISA、Master、JCB、AMEX、Diners対応のカード引落しによるものです。

●郵便局自動引落(定期献金)月々500円~

お持ちの郵便局普通口座から毎月自動でお引落するものです。郵便局で「自動払込利用申込書」を下記のようにご記入、お申込ください。お申込には口座の登録印が必要です。

【自動払込利用専用】

払込先:TCU支援会、口座00110-3-79801、払込開始月:約1ヵ月後からの月、払込日:毎月25日、種別:33会費、備考欄に「毎月のお払込金〇〇〇〇円」をご記入ください。

『明日の世界宣教者育成募金』の感謝報告

2018年度(2018年4月~2019年3月)の『明日の世界宣教者育成募金』は、2月末までに1030の支援者より、5,880万円のご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

TCU支援の輪を広げるために友人・知人にもご入会をお勧めいただければと願っています。新規、継続のご支援をよろしくお願い致します。

献金感謝報告

尊いご献金とご協力を、心から感謝と御礼を申し上げます。この2018年10月1日から2019年2月28日までの献金者のご芳名を感謝をもって報告致します。(敬称略)

大学献金

- DONGSAN CHURCH/青森福音キリスト教会
旭キリスト教会/麻布霞町教会/足立愛の教会
足立キリスト教会/渥美キリスト教会/姉ヶ崎キリスト教会
安城中央キリスト教会/井荻福音キリスト教会
五十嵐キリスト教会/生田丘の上キリスト教会
池戸キリスト教会/生駒めぐみ教会
石川地区学園テ/和泉福音教会/市川北バプテスト教会
市川グレース教会/市川福音キリスト教会
宮崎みキリスト教会/市原平安教会
いのちのこはら社/磐田キリスト教会/印西牧の原キリスト教会
浦和福音自由教会/枝川愛の教会
海老名シオンの丘教会/大野キリスト教会/大阪キリスト教会
岡山めぐみキリスト教会/桶川福音自由教会
尾山台教会/尾山台ナザレン幼稚園
春日部福音自由教会/学校法人横浜学院
金沢聖書キリスト教会/金沢中央教会/金沢独立キリスト教会
株式会社永明/株式会社創世ライフワークス社/株式会社ノア/鎌ヶ谷教会
上大岡聖書教会/加茂福音キリスト教会/軽井沢キリスト教会
川越福音自由教会/関東合同婦人会/カンパウンド長老キリスト教会
日本中会/北秋津キリスト教会/北新瀧キリスト教会
キッズ&ファミリーサポートミッション/衣笠中央キリスト教会
岐阜キリスト教会/希望が丘教会教育部/行徳キリスト教会
共立女子聖書学院同窓会/久遠基督教会/久喜福音自由教会
剣路キリスト福音館/国立のぞみ教会/クライストコミュニティ/クライストコミュニティ
東神戸ハイバルチャペル/グリーンヒル福音教会/久里浜福音教会/久留米聖書教会/高座教会
甲府キリスト福音教会/古河教会/小平聖書キリスト教会
湖北パーカイドチャペル/胡屋バプテスト教会/西大寺キリスト教会
在日韓国基督教連合会/坂の上バプテスト教会
佐倉王子台チャペル/佐渡金井キリスト教会
三遠南信地区TCUセミナー/シオン祭出店アラムニ/匿名志賀キリスト教会
志木新座めぐみ教会/四国地区学園テ/静岡サミル聖書教会
静岡地区学園テ/静岡めぐみ教会/渋谷教会/渋谷小隊/子母口キリスト教会/下北沢聖書教会
自由ヶ丘めぐみ教会/主都福音キリスト教会/招待キリスト教会/沼南キリスト教会

na Bushuru Maraka / 徐有珍 / Son Min Jung / Ting Hannah Shi-Hui / Walker Shira Graeco / 青木俊介 / 青野眞里枝 / 青山田鶴子 / 赤江弘之 / 昭代 / 秋山傑洋 / 浅井礼 / 浅海幸弘 / 和子 / 朝岡満喜子 / 朝岡勝 / 足立雄飛 / 真美 / 阿部伊作 / 阿部大 / 美歌 / 阿閉大也 / 荒井慶子 / 荒井創 / 新井龍治 / 新垣努 / 聖美 / 新垣ひろみ / 有泉博子 / 安西愈 / 安藤博之 / 千恵 / 李京爽 / 伊井洋子 / 匿名 / 居垣雪 / 池上王士 / 桃子 / 池田アイ / 池田雄 / 詩保 / 石井由紀 / 石川美子 / 石原美智子 / 井下由美 / 井出博彦 / 匿名 / 伊藤天雄 / 伊藤心 / 江 / 稻垣久和 / 稲葉裕 / 稲本修 / 井上聡 / 直子 / 井上 / 人美 / 井上志乃 / 井上慎治 / 井上貴詞 / 井上智彦 / 井上正彦 / 井上洋治 / 由枝 / 今田和子 / 今村弘子 / 入江仰 / 入江喜久雄 / 直美 / 匿名 / 匿名 / 岩田順也 / 匿名 / 岩田三枝子 / 匿名 / 金田一佳代子 / 大童幸二 / 植草功吉 / 上田利昭 / 上田深雪 / 内野雅之 / 稔子 / 宇内千晴 / 江頭敬子 / 遠藤潔 / 禎子 / 大井稔子 / 大恵わたる / 大久保宣満 / 大倉武雄 / 大坂ヨシア / 大下由利子 / 大島久子 / 大嶋義隆 / 大杉至 / 太田雅恵 / 大高市子 / 大龍恵理也 / 和子 / 大塚円 / 大野麻 / 大野智恵子 / 大橋秀夫 / 大森幹夫 / 岡忠義 / 岡田美子 / 岡崎厚詞 / 岡崎修市 / 岡田浩平 / 緒方慎八 / 岡田雄 / 岡村又男 / 末子 / 岡森雅浩 / ゆかり / 奥山礼子 / 小此内慎悟 / 小笹崇代 / 小沢啓子 / 鬼塚弘通 / 啓子 / 小野浩二 / 小野幸信 / 小野芳信 / 喜美枝 / 小町継太 / 小町誠 / 織作恵子 / 柿谷正期 / 影山範文 / 梶原恵生 / 片岡政子 / 加藤和子 / 加藤美千代 / 金城幸政 / ふじ代 / 金岡大二郎 / 金田昭三 / 兼行實 / 貴之 / のり / 龜谷涼子 / 川崎晴美 / 川島敬子 / 川島正子 / 川嶋良治 / 川根正子 / 川元久美 / 神田結実子 / 菅野綾 / 菅野健太郎 / 菊池実 / 菊池良一 / 真恵美 / 岸幸恵 / 喜多大樹 / 北口美喜 / 北見三子 / 木下幸治 / 木藤光子 / 金和弘 / 宮本奈緒子 / 木村和弘 / 満枝 / 草井智子 / 久保邦子 / 倉沢正則 / 多美子 / 倉持裕子 / 栗原芳 / 珠代 / 黒川知文 / 匿名 / 黒田尚子 / 桑原淑行 / 賢賀英郎 / 匿名 / 国府田祝子 / 河野日佐子 / 郷家三三 / 國分正子 / 小暮与作 / 道子 / 児玉光 / 照恵 / 児玉幸 / 小塚朝生 / 後藤敏四郎 / 真理子 / 後藤弘 / 小西淑子 / 小林清 / 小林規子 / 小林壽子 / 小林宮子 / 匿名 / 小山望 / 齋藤五十二 / 小林壽子 / 齋藤潔 / ますみ / 佐川英美 / 崎山清 / 笹川雅弘 / 佐々木泰士 / 佐々木秀子 / 佐々木保雄 / 佐藤隆之 / 由美子 / 沢谷千代子 / シエナ / シマルズ / 塩見知司 / 塩見治子 / 篠原啓治 / 篠原哲一 / 篠原基章 / 美穂 / 柴田幸士 / 昌子 / 柴田初男 / 柴田美枝子 / 渋谷俊雄 / 島田務 / 弥生 / 島田治夫 / 清水安子 / 下川友也 / ヨリ / 莊司明 / 城定千世子 / 田沼安 / 白倉まり子 / 白井善秀 / 菅沼威 / 菅原好江 / 鈴木

敏雄 / 薄佳志子 / 鈴木直子 / 鈴木七絵 / 鈴木洋宣 / 尚美 / 鈴木政則 / 鈴木光男 / 鈴木洋子 / スエバ / フランクリン / 角谷絵 / 関野祐二 / 妹尾弓子 / 千田由美 / 宗田八重子 / 杉浩一 / 高木弦 / 高木実 / 高瀬真 / 貴子 / 高橋篤 / 高橋重信 / 高橋潤 / 差智子 / 高橋信希 / 千尋 / 高橋信子 / 高橋寛 / 高橋伸幸 / 高橋光子 / 高橋めぐみ / 宝崎町子 / 海澤字 / 武井邦夫 / 竹内和味 / 竹下史郎 / 竹原真理子 / 竹本喜代子 / 多胡真太郎 / 立石圭子 / 立山剛 / 裕子 / 田中悦子 / 田中芳子 / 田中恭子 / 谷口穂子 / 谷本栄治 / 澄江 / 谷本琴也 / 千葉 / 田原直美 / 田淵健一郎 / 恵子 / 匿名 / 田村真 / 千葉健太郎 / 千葉秀徳 / 中善寺文子 / 塚田真理子 / 辻智恵 / 匿名 / 辻本文子 / 寺田文男 / 東畑意津子 / 徳梅陽介 / 匿名 / 渡真利彦文 / 富岡昇 / 富田仁美 / 外山節子 / 豊島集司 / 内藤昭治 / ちよみ / 内藤真奈 / 永井仁志 / 長石寛 / 中尾房生 / 中川洋佑 / 麻祐 / 中島伸一 / 田清子 / 中西純子 / 中野寛 / 永野則之 / 中野瑠彦 / 長橋和彦 / 中村二英 / 永山治 / 中山良男 / 並木公子 / 匿名 / 並木孝之 / 匿名 / 匿名 / 匿名 / 並木由喜子 / 南村愛 / 成田始 / 西操 / 西原忍 / 西村敬憲 / 麻利子 / 西山幸子 / 西山聖子 / 根本信子 / 根岸幸加 / 野口忠子 / 野田信光 / 野本恒雄 / 萩原和子 / 朴仙映 / 蓮井智子 / 蓮尾英一 / 長谷川勇輔 / 有貴子 / 長谷部純司 / 君子 / 長谷部秀久 / 畑和雄 / 馬場千晶 / 瀧細八郎 / 濱口義信 / 早川朔 / 林明信 / 早見友雄 / 美江 / 原豊人 / 千春 / 原裕昭 / みはる / 原田明美 / 原田五月 / 鈎裕之 / 比嘉惠美子 / 比嘉千恵子 / 東中喜彦 / 樋口邦彦 / 彦坂美佐子 / 日名信介 / 平井紀子 / 平川光宣 / えり子 / 平野和 / 美 / 平塚治樹 / 平塚幽香子 / 平野登美子 / 平野雅子 / 平林英也 / 廣瀬薫 / 美穂子 / 廣田深緒 / 廣橋嘉信 / フィリップ / フォックススウェル / 福迫徹也 / 真里 / 福田聖志 / 藤井正男 / 藤川弘子 / 藤田正 / 藤田直樹 / 藤本美由紀 / 藤原真規子 / 藤原美佐子 / 藤原導夫 / 智子 / 洲上英郎 / 古川弘幸 / 古林正 / 語 / 古屋良子 / 白まゆみ / 蓬菜朱美 / 星山正一 / 英子 / 細谷潔 / 紀弥 / 堀内幸二郎 / 堀尾立信 / 尚子 / 本多英昭 / 本間邦 / 本間恵子 / 本馬信義 / 前田倫男 / 牧野理恵 / マクトエ工綾子 / 増淵正恵 / 町川成子 / 町田零二 / 松田信 / 松平多門 / 松永千秋 / 松永徳智 / 松永優 / 順子 / 松野正高 / 松原正幸 / 丸山園子 / 圓山友子 / 万城栄治 / 久美 / 万城紘 / 啓子 / 三浦称 / 聖子 / 三浦政彦 / 三川京子 / 水野恵子 / 溝口昌樹 / 三谷康人 / 宮川和彦 / 宮川百合香 / 宮川活夫 / 匿名 / 宮城妙子 / 宮地宏一 / 恵 / 原孝夫 / 淑恵 / 宮本あゆみ / 宮本和子 / 宮本京子 / 匿名 / 宮脇星児 / 栄子 / 虫明英雄 / 匿名 / 虫明令子 / 匿名 / 武藤正信 / 毛利佐保 / 森惠子 / 森河裕子 / 森田和子 / 森田哲也 / 森本文子 / 森本祥子 / 森本信幸 / 麻子 / 森本英利 / 好恵 / 森山洋子 / 葉師里永

子 / 矢口美和子 / 矢田信雄 / 和子 / 柳沢美和子 / 柳下弘 / 数田三保子 / 山内慎也 / 史奈 / 山岡勝次 / 山口陽 / 山崎恵子 / 山崎隆 / 山下広文 / 山下巨 / 夕奈 / 山田怜 / 大和昌平 / 山本和美 / 山本和義 / 山本弘史 / 山本美喜男 / 横田義典 / 横山清行 / 留美子 / 横山武 / 山岡創 / 洋子 / 吉田篤 / 賜美 / 吉田雅尚 / 吉田満知子 / 吉永啓次 / あや子 / 吉野弘子 / 吉持章 / 吉持辰主 / 優香理 / 吉持日輪生 / 和田紘 / 渡辺真理子 / 渡邊美津子 / 王詠璋

大学院献金

いかるが聖書教会 / 枝川愛の教会 / 希望キリスト教会 / 鴻巣福音自由教会 / 志賀キリスト教会 / 子母口キリスト教会 / 湘南グレースチャペル / 津豊丘キリスト教会 / 東京国際基督教教会 / 日本長老教会中部中会 / 東大宮福音自由教会 / 日高キリスト教会 / 町田聖書キリスト教会 / みことば福音教会 / 恵みバプテスマ教会 / 盛岡みなみ教会 / 金谷植阿久津康彦 / 荒井創 / 新井龍治 / 伊藤天雄 / 井上慎治 / 入江仰 / 岩田順也 / 岩田三枝子 / 宇内千晴 / 岡村又男 / 末子 / 表川幹雄 / 川島敬子 / 神田結実子 / 喜多大樹 / 小林宮子 / 小山潔 / 齊藤明夫 / 齋藤弘子 / 櫻井菊子 / 笹川雅弘 / 佐藤浩昭 / 乃里子 / 篠原哲一 / 篠原基章 / 美穂 / 柴田初男 / 宗田信一 / 武田順児 / 田中幸子 / 桃原俊幸 / 徳田信 / 中山良男 / 馬場千晶 / 浜島敏 / 早川佳枝 / 林明信 / 平塚治樹 / 平野雅子 / 黄允湜 / 三浦称 / 聖子 / 宮崎彌男 / 淳子 / 森健 / 山口鋭子 / 山口陽 / 山崎恵子 / 大和昌平 / 王詠璋

子 / 藤田直樹 / 匿名 / 柳沢美和子 / 山口三治 / 山口陽 / 山崎恵子 / 山下真実 / 大和昌平

異文化実習支援献金

徐有珍 / 石塚恵司 / 和子 / 伊藤天雄 / 入江仰 / 岩田順也 / 岩田三枝子 / 大下由利子 / 加藤美杏香 / 川元久美 / 神田結実子 / 菅野綾 / 倉沢正則 / 多美子 / 小林宮子 / 佐藤浩昭 / 乃里子 / 篠原哲一 / 篠原基章 / 美穂 / 菅原好江 / 匿名 / 島海祥 / 根岸幸加 / 平野雅子 / 森優子 / 森田哲也 / 柳沢美和子 / 山口陽 / 大和昌平

教会教職者志望学生奨学金基金

金沢キリスト福音教会 / 黒部キリスト教会 / 志賀キリスト教会 / 新船橋キリスト教会 / 筑波キリスト教会 / 馬堀聖書教会 / 八千代聖書教会 / 金谷植 / 朝岡満喜子 / 市山信子 / 伊藤天雄 / 入江仰 / 岩田順也 / 岩田三枝子 / 上原朋子 / 宇内千晴 / 遠藤潔 / 禎子 / 川島敬子 / 神田結実子 / 菅野綾 / 菊池実 / 喜多大樹 / 金奎東 / 金明玉 / 倉沢正則 / 多美子 / 小暮与作 / 道子 / 小林宮子 / 佐藤浩昭 / 乃里子 / 重富優子 / 篠原哲一 / 篠原基章 / 美穂 / 柴田初男 / 高取直子 / 谷口穂子 / 徳梅陽介 / 歳森登喜恵 / 中川洋佑 / 麻祐 / 並木孝之 / 馬場千晶 / 林明信 / 原田靖彦 / 裕子 / 久島健吉 / 泥谷逸郎 / 平田卓也 / 仁美 / 平塚治樹 / 平野雅子 / 溝口昌樹 / 三井平康 / 匿名 / 柳沢美和子 / 山口三治 / 山口陽 / 山下真実 / 大和昌平 / 吉永啓次 / あや子

留学生奨学金基金

株式会社ノア / 志賀キリスト教会 / 千葉ユー・タウン・バプテスマ教会 / Believe Rebecca / 徐有珍 / 阿部伊作 / 石塚恵司 / 和子 / 伊藤天雄 / 入江仰 / 岩田順也 / 岩田三枝子 / 宇内千晴 / 大下由利子 / 岡田浩平 / 岡田雄 / 長下部昇 / 長下部優 / 美香 / 川島敬子 / 神田結実子 / 菊池実 / 倉沢正則 / 多美子 / 小暮与作 / 道子 / 小林宮子 / 佐藤浩昭 / 乃里子 / 篠原哲一 / 篠原基章 / 美穂 / 島海祥 / 根岸幸加 / 野瀬朋子 / 平野雅子 / 福迫徹也 / 真里 / 藤田直樹 / 溝口昌樹 / 匿名 / 森恵子 / 森優子 / 森田哲也 / 柳沢美和子 / 山口三治 / 山口陽 / 山崎恵子 / 大和昌平

学校法人東京キリスト教学園 明日の世界宣教者育成募金 〇〇二〇一五七五七六四八

Information

所…会場 日…日時 講…講師 料…受講料
問…問い合わせ先 申…申し込み先

オープンキャンパス

日 5/10(金)～5/11(土)寮一泊型[5/11(土)のみ参加も可]
6/15(土)、7/20(土)
内容 学部・学科説明、在学生によるTCU紹介、キャンパスツアー、
模擬授業、学費・奨学金・入試ガイダンス、個別面談
宿泊無料・交通費補助あり

問 申 ウェブサイトからお申込み下さい。
教務課入試担当 (0476-46-1131)

パイプオルガンさんこんにちは Vol.19

日 5月18日(土)13:30～15:00
所 本学チャペル
内容 女声アンサンブルとオルガンの響き
料 無料

問 東京基督教大学教会音楽アカデミー
TEL:0476-46-1131 E-mail:music@tci.ac.jp

※4月中旬、ウェブサイトに詳細がアップされる予定です。

FCCセミナー

教会教職特別セミナー

日 5月20日(月)13:00～15:30
講 坂本 誠氏(日本同盟基督教団高崎福音キリスト教会牧師)
テーマ 「洗礼」
所 国際宣教センターチャペル
料 一般2,000円 支援会員1,000円(当日入会可)
申込内容 ①氏名 ②電話 ③E-mail ④所属教団・教会名
申込締切 5月16日(木)

第1回キリスト教葬制文化セミナー

日 7月15日(月)10:00～16:30
所 お茶の水クリスチャンセンター 416号室
料 2,900円 前売 2,500円
詳しくはウェブサイトをご覧ください。

申 国際宣教センター
E-mail:fcc@tci.ac.jp Fax:0476-31-5521

2019年度教会音楽アカデミー公開講座

第1回

日 6月3日(月)13:10～15:10
講 山下 真実氏(ふじみ野バプテスト教会 牧師)
テーマ なぜ彼らは『賛美集会』をするのか～
『賛美』の実践神学
所 国際宣教センターチャペル

屋下がりのコンサート

日 6月3日(月)12:20～12:50
演奏 山内 吏奈、松永 順子(パイプオルガン・ピアノ)
所 本学チャペル
料 無料

問 東京基督教大学教会音楽アカデミー
TEL:0476-46-1131 E-mail:music@tci.ac.jp

世界宣教講座

日 6月10日(月)～14日(金)
テーマ 『パンと神のことば 一からだと心を満たす宣教』
講 清家 弘久氏(日本国際飢餓対策機構理事長)
松丸 嘉也氏(日本ウイクリフ聖書翻訳協会総主事)
問 世界宣教講座委員会 TEL:0476-46-1131

夏期卒業礼拝(卒業式)

日 7月5日(金)13:30～
所 本学チャペル
問 総務課(soumu@tci.ac.jp)

第48回夏期教会音楽講習会

日 7月18日(木)～7月20日(土)
所 本学キャンパス
主題 Stand in the Gap 破れ口に立つ～寄り添う音楽～
対象 音楽奉仕者(指導者・奏楽者・賛美奉仕者など)、学生(中高生含む)、
教職者、信徒有志
実技レッスン受講生定員 各12名
料 受講料:17,000円 聴講料:12,000円
中高生:10,000円(受・聴講同額)
《主なプログラム》
◆主題講演講師:山口 陽一学長
◆二日目講演講師:米沢 陽子氏
(立教大学大学院キリスト教学研究科特任教授)
◆合唱:「ありがとう音頭」(作詞作曲:岩瀬まこと)
「神の子が」(作詞作曲:岡本真緒)
◆実技レッスン:オルガン(パイプ・リード)、声楽、作曲、ウクレレ、ギター、
ピアノより1つを選択
◆演習:コンサートなど
※5月初旬、ウェブサイトに詳細がアップされる予定です。
問 教会音楽アカデミー 夏期教会音楽講習会
TEL:0476-31-5522, FAX:0476-31-5521
E-mail:fcc@tci.ac.jp

ケアチャーチセミナー

今回は夏期教会音楽講習会とコラボレーションし、音楽療法を通して
教会での福祉実践を考えていきます。

日 7月19日(金)10:00～15:00
所 本学キャンパス
テーマ 「人生に寄り添うスピリチュアルケアと音楽」
講 米沢 陽子氏(立教大学大学院キリスト教学研究科特任教授)
中澤 秀一教授
料 3,000円(昼食あり)
問 申 ウェブサイトからお申込み下さい。
TEL:0476-46-1131